

# 従来編 重点分野賞



## 2021年 中テレSDGs アクションレポート

### 環境課題に対する取り組み

### ごみ拾いを県民運動に!

福島県民1人あたりのごみ排出量がなんと全国ワースト2位! 中テレは、さまざまな活動を通じてごみ減量化にむけた県民運動を展開していきます

### 拾ったごみの重さは6トン超!

(2021年6月30日現在)

11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう

**ブンケン 歩いてゴミ拾いの旅**

鈴木 文健 福島県郡山市出身の俳優

高校時代には全国高校サッカー選手権大会に出場し、バレーボールプレーヤーとしても活躍中

**Chu!** 毎週 月曜日  
15:50~16:50  
Hulu、YouTubeチャンネルにて配信

県民一人あたりのごみ排出量は、福島県が全国ワースト2。(2019年度)番組を通して少しでも福島県内のゴミを減らし、また捨てる人がいなくなるよう、SDGsの理念とも合致する、持続可能な環境美化を目指す「ゴミでChu!」人気コーナー。



道端に落ちているゴミは、ただのゴミにあらず。拾えば拾うほど、自然豊かな福島県を取り戻すことが出来るのです。そこでコーナーでは、拾うごみを「希望のカケラ」と名付け「ふくしまを綺麗にしよう」というポジティブなメッセージを視聴者に届けています。地元の方ともコミュニケーションをとりながら、今回も「希望のカケラ」ごみをたくさん拾いました。



「ブンケンさんとごみ拾いがしたい!」番組にはこのような声がたくさん寄せられています。その多くは小学校などの教育機関です。SDGsが学校のカリキュラムに取り入れられ、環境保全について学ぶ機会も増えたこと、ブンケンさんの前向きで実直な姿が子どもたちに大変人気になっています。もはや「子どもたちのヒーロー」かもしれません。

日本海と日本 PROJECT 海の未来を変える挑戦

海ごみ削減プロジェクト

### 6月6日 県内一斉清掃活動

県内5か所総勢723人が参加

6月6日(日)、郡山市、福島市、会津若松市、いわき市、南相馬市の5か所で、「県内一斉清掃活動」を開催。地元自治体、企業、ボランティア団体、教育機関などの皆さんと一緒にごみ拾いを行い、可燃ごみ286袋・不燃ごみ44袋を集めました。次回は9月に開催予定です。



### Fukushima Open 連携アクション



### 開催地で 清掃活動+チャリティブース

開催地となっている西郷村は阿武隈川の源流地域ということもあり、「きれいな街で大会を迎えよう」をコンセプトに、地元教育委員会・小学校、中学校、開催コース、地元プロの皆さんと協力して清掃活動を実施。大会期間中には、活動報告+大会出場選手のグッズが当たるチャリティブースを展開、「海洋ごみ削減」への啓発を進めるとともに、30万円を超えるチャリティが寄せられました。いただいた浄財は福島県環境基金に寄付いたします。

### 中テレアプリで「SDGs県民アンケート」実施

5月、「SDGs」について、中テレアプリを使った県民アンケートを実施しました。テレビをきっかけに認知度が60%強、一方で「わかりにくい」という声も...17のゴールのうち、関心の高いゴールは...詳しくは、QRコードからご確認ください。

